

## 地区計画を策定する理由（宇陀市）

### 1. 区域の概要

本地区は、本市の南西部に位置し、心の森総合福祉公園、大宇陀温泉あきののゆや大宇陀こども園などの公共施設があり、周辺には山林、住宅地、寺院が立地する区域である。

周辺には城下町から商家町として発展し、当時の町並み景観が残っている宇陀松山地区があり、重要伝統的建造物群保存地区として選定されている。また、国道370号、道の駅「宇陀路大宇陀」、宇陀松山城跡、森野旧薬園、県営うだ・アニマルパークなど多くの観光資源が存在している。

### 2. 策定の理由

本地区は、本市の南西部に位置し、吉野・松坂方面を往来する際の中継点であり、西暦611年に日本最初の薬猟が行われたところと言われている。また、徒歩圏内に道の駅宇陀路大宇陀や松山重要伝統的建築物群保存地区などの観光資源があり、かつ総合福祉ゾーンとして整備された。

宇陀市都市計画マスタープランにおいて「観光創出地」と位置付けられ、大宇陀地域が有する豊富な観光資源を有効活用することで、人を呼び込み、活力あるまちづくりを目指している。このようなことから、観光に寄与する宿泊施設や多世代交流拠点としても対応が可能となる公園等観光の拠点となるよう、適切な土地利用の規制・誘導等を行うために地区計画の策定を行うものである。